

エコニュース さって



第 30 号

平成 21 年 12 月 2 日
幸手市市民環境会議
(さって市民環境ネット)
TEL48-0331

秋の光に輝く中川

＜第 3 回中川探検ウォーク＞



10月24日（土）、さって市民環境ネット主催の「第3回中川探検ウォーク」が開催されました。この日、30名の参加者が秋深まる幸手東公民館～天神橋～クヌギ林周辺の散策を楽しみました。

第1回、第2回は『いのちあふれる春の中川』がテーマでしたが、第3回では‘晩秋の頃の光’をテーマに観察会を企画しました。

講師として、樹木については山本裕隆氏、野鳥については青柳進氏に予備調査から参加していただき、ご指導ならびに貴重な資料の作成に協力していただきました。

木々の葉が減り、野草の勢いもなくなった河川敷では、たくさんの野鳥を観察することができます。カルガモの群れの次には、水辺の宝石と言われるカワセミが一瞬姿を見せたり、青柳さんの望遠鏡をのぞくと手が届きそうなところに、柔らかいオレンジ色の胸毛のモズが見えたりと感激しきり、この日13種類の野鳥を観察することができました。水辺を中心に留鳥・水鳥・冬鳥たちが見えない“環”で結びついていることを感じました。

また、武蔵野の代表的な落葉樹で、ニレ科3兄弟とも呼ばれる（よく似ているから）ケヤキ、エノキ、ムクノキの見分け方も、葉の形や葉脈の違い、実の大きさ・色、そして味の違い？も学びました。ことにムクの黒い実は甘くておいしく、「昔食べた干し柿の味！」、「なつかしい味！」とみんなムクドリになったように味わいました。

晩秋の光はとても温かく、楽しい道草いっぱい散策は、まだまだ嬉しい発見がありそうでしたが、予定の約2時間がきてしまいました。

毎年行っている探検ウォークの成果は、『ジオラマ』の制作に活かし、流域の生態系を守る活動の“環”に結びつけていきたいと思います。次回は5月の予定です。（石井・藤城）

（参加者のそのほかの感想）

- ・初めての体験をした。
- ・ススキだとばかり思っていたのが、オギだと知った。
- ・昔はこの辺でシジミをとった。
- ・今日のウォーキングは、6500歩でした。
- ・家のハンノキを切ってしまった、残しておけばよかった。
- ・また参加したい。

☆ この事業は、彩の国みどりの基金の補助を受けて実施しました。

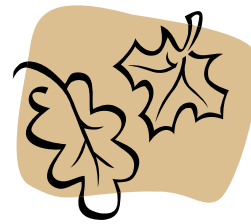
市民環境会議・さって市民環境ネットは、「環境基本計画」に市民の皆さんの声を織り込むために作業してきました。そして今、環境ナビ（幸手市HP）、エコライフDAY、中川探検、腐葉土づくり、浮島づくり、グリーンコンシューマー運動などの活動に取り組んでいます。あなたも参加しませんか。いつからでも誰でも参加できます。

問合せは、本田（42－8412）まで。

落葉リサイクルで腐葉土づくり

<第 46 回 腐葉土づくりの会>

熟成腐葉土の袋詰め、今年度、早々と第 1 回の落ち葉仕込みを行いました！ サツマイモ、奥マメも生長しています！



9 月 27（日）9 時から、16 名の参加で最初は畑と桜泉園に 2 グループに分かれて作業しました。

畑は、地主の好意で、がカボチャを収穫した後を前もって耕してありました。サツマイモがかなり生長しており、奥マメも膨らんできていることを確認して、周囲の草取りを行ってから桜泉園へ移動しました。

全員が集まったところで、当日の作業手順と、次回は事務局の都合で 17 日（土）として奥マメの収穫、次々回は 11 月 1 日（日）でサツマイモの収穫と新会員募集、一般参加者募集（保険料などを含めて 300 円）を行うことを事務局、会長から案内しました。

なお、11 月 1 日（日）の行事については 10 月号の「広報さって」と 10 月 15 日のアットホームニュースに掲載される旨を報告し、また、今年度も「市民健康福祉まつり」で環境コーナーを展示し、腐葉土づくりの会も参加することが報告されました。

その後、残っている熟成腐葉土を大サイズ、小サイズそれぞれ約 50 袋ずつ詰め、すべて使い切りました。大サイズは会員各位の秋野菜と春野菜の栽培用及びガーデニング用としてはけました。小サイズは販売用に向けました。

さらに、環境課の協力で既に 50 袋ほどさくらの落ち葉が集められていましたので、今年度、早々と米ぬかを挟みながら最初の落ち葉の仕込みを行いました。（澤村）

<第 47 回 腐葉土づくりの会>

今年も昨年以上に奥マメの大収穫！ 2 基目の落ち葉仕込みを行いました！

10 月 17 日（土）9 時から、秋晴れの下で新規会員 2 名を含めて 20 名が農園に集り奥マメの収穫を行いました。会長から新規会員の紹介があった後、事務局から豆木の引き抜き、根切り、40 束化への各作業分担を行い、豆木の引き抜きは力作業となるため男性が中心となって行いました。早生マメと比べて木が太く枝も多くて一本の豆木に房の数が非常に多く実っていました。ただ、残念なのは、実り過ぎたり実が茶色化しているのもありました。多分、1 週間～10 日程前に収穫すれば、少なくとも 5 割増しの収穫量が予想されました。団体行動なのでやむを得ないと思いますが、収穫が天候に左右される自然の難しさを感じました。来年度は、会員の皆さまには申し訳ないと思いますが、2 週に跨って 2 日間の日曜日を収穫予定日に組み込んで貰い、適切な日に収穫を行いたいと思います。何れにしても、少し実り過ぎた感がありますが、後で茹でた豆は非常に美味しく食べられました。とても数日では食べ切れませんので冷凍にしたり、近所の人に差し上げました。近所の人から秋マメは珍しく美味しかったとお礼を言われました。

今回は、土曜日でもあり都合の悪かった人も多くいましたので、欠席者にも配り、また畑を耕して頂いている地主と新井先生にもお礼として差し上げました。

奥マメの収穫後、次回は、11 月 1 日（日）は入会を考えている人を含めて約 20 人の一般参加、子供たちと一緒にサツマイモ掘りを行うことを案内し解散しました。

なお、一部の有志が残り、環境課が先月に引き続いて桜泉園内の集めた落ち葉を米ぬかと乾燥汚泥土を挟んで水を撒き 2 基目の床に仕込みました。（澤村）

＜第 48 回 腐葉土づくりの会＞

一般参加者、子供たちも加わって、落ち葉集めと自然の中で泥んこになってサツマイモ掘り、童心に戻って楽しかった！

11 月 1 日（日）、9 時半に会員 20 名、新規入会を考えている人を含む一般参加者と子育てグループの 20 名の計 40 名が桜泉園に集合し、冒頭、会長から新たな参加者への歓迎の挨拶と 11 月 7 日（土）の市民健康福祉祭りで市民環境ネットが当腐葉土づくりの会を含めた種々の環境コーナーとして展示することを案内しました。その後、会員と一般参加者と子育てグループとの間で 3 分間のアイスブレイクを行いました。

事務局から、本来の腐葉土づくりの会の趣旨である「落ち葉集めと仕込み」を約 1 時間行い、その後、農園に移動して「サツマイモ掘り」をすることを案内し、落ち葉集めと仕込みの作業分担を行って実作業に入りました。

落ち葉は園内からと工業団地の遊歩道の林から集め、おかげで遊歩道もきれいになりました。仕込みは男性 5 名が分担して既に環境課が集めた落ち葉と皆で集めた落ち葉を米ぬかと乾燥汚泥土を挟んで水を撒きながら 2 基目の床に積み込んでいきました。

終了後、全員が農園に移動し、先ずサツマイモの株を残したつる切りを行い、土が硬いため男性がシャベルで土を起こし、女性と子供がサツマイモを掘り出す作業を行いました。皆が手を泥んこにして童心に戻ってワイワイ楽しみながら作業が進みました。今年は 300 本植えて途中一部枯れたのもありましたが、1 個 1 k g 近いのもあって昨年よりも全体的に大きいイモでした。50 個のイモの山を作って、それぞれが持ち寄ったレジ袋（みんな一杯になりました。）に詰めて分配しました。数日干してから食べるとより甘くなると説明しました。

なお、子育てグループにはヤキイモ会（12 月 14 日に開催予定）の芋を 2 袋寄付しました。また、地主にも畑を耕してくれているお礼として 1 袋差し上げました。更に「市民健康福祉まつり」展示用として残しました。

今回は、11 月 15 日（日）10 時から、切り返し、落ち葉集めと仕込みを行うことを約束し散会しました。（澤村）

幸手市・杜協主催「健康福祉まつり」が 11 月 7 日（土）に開催

私達「さって市民環境ネット」も参加。「幸手市文化祭」と重なっているにも拘らず、今年も盛況で千数百人の来場者があったと聞いております。また、私達のブースにも沢山の方に見学と勉強に来て頂きました。

「腐葉土づくり会コーナー」では、新しく展示箱と説明文や活動状況を展示しました。多くの質問から家庭菜園をされている方が増えていることも感ぜられました。

「中川探険コーナー」では、新装になった中川ジオラマと説明文や活動状況を展示しました。ジオラマに対する良いご提案なども頂き参考となるが多々ありました。

「エコライフ DAY・菜の花プロジェクトコーナー」では、幸手の皆さんの協力でエコ実績が少しずつ増えてきておりグラフで表わし、参加の意義も認識して頂いたのではないかと思います。菜の花プロジェクトは、ことし産声をあげたばかりです。来年の収穫時期には、沢山の参加者が来られることを思い夢膨らませています。

「環境ナビコーナー」では、明日（8 日）に開催されます県主催・行幸湖に浮かべよう「浮島づくり」イベントに多くの質問を頂きました。私達の小さな活動が認められ、県主催の大きなイベントに繋がりました。参加者に感謝いたします。

「映写会コーナー」では、環境関係にも関わらず、35名の人が見に来てくれました。

「クイズラリーコーナー」では、昨年同様に各コーナーで勉強して答えてもらう方法です。今年も好評で311名もの参加者があり、皆さん楽しみながら勉強をして頂きました。

今年は、新型インフルエンザの影響で色々なイベントも客足が悪いと聞いております。それにも関わらず、多数の方が来て頂き嬉しく思います。鳩山総理も世界に向けて宣言しておりますが「エコ・環境問題」は、これから益々重要な課題となって来ます。私達の活動が、少しでも皆様のお役に立てば幸いです。(小谷)

環境講座のお知らせ

1回目のテーマ

身近な資源「地中熱」

＜講師：NP0法人地中熱利用促進協会 大島和夫 氏＞

地下数10メートルは、地上の気温に左右されず10～15℃とほぼ一定です。

夏30数℃、冬5℃前後の外気温ととの差を利用して、室内空調の省エネや、さらにはヒートアイランド現象の緩和にも役立つ「地中熱」について学びます。

この温度差エネルギーを利用する技術は建設中のスカイツリー(墨田)に採用されました。

- ・日 時 平成22年1月23日(土)
- ・時 間 午後1時00分～4時00分
- ・会 場 幸手市中央公民館 講座室
- ・定 員 40名

今後の開催予定

2回目：2月13日(土) 環境問題に取り組む企業・団体等による活動報告及び交流会(仮)

3回目：3月6日(土) 菜の花プロジェクト 菜種油(仮)

4回目：3月20日(土) 食と農業(仮)

問合せ&申込先 幸手市市民生活部 環境課

48-0331 環境担当まで

幸手の環境活動グループ：幸手権現堂桜堤保存会、権現堂川地域環境保全協議会、幸手自然愛護会、幸手地産地消研究会、幸手ひがし幼稚園、エコ・グリーン幸手、くらしの会、上高野婦人会、倉松探検隊

市民環境会議・さって市民環境ネットは、「環境基本計画」に市民の皆さんの声を織り込むために作業してきました。そして今、環境ナビ(幸手市HP)、エコライフDAY、中川探検、腐葉土づくり、浮島づくり、グリーンコンシューマー運動などの活動に取り組んでいます。あなたも参加しませんか。いつからでも誰でも参加できます。

問合せは、本田(42-8412)まで。